平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） １１６ ※記入不要	提案機関名	ＪＡあしがら

要望問題　コテツフロアブルの殺ダニ効果の有無及びリサージェンスがあるのかについて

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

摘採までの日数が７日なのでダニ剤としては一番短いが、カンザワハダニへの効果、天敵まで殺してその後ダニが再びふえていないか、検討願いたい。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：津久井試験場	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

対応の内容等

コテツフロアブルの効果については、平成１５，１６年度で行っています「県内茶産地別のカンザワハダニに対する殺ダニ剤効果試験」の中で検証を行っていますので参考にしてください。また、コテツフロアブルについては、ハダニの天敵であるカブリダニに対しては影響が少ないとされているので、リサージェンスが起こる可能性は少ないかと思われます。現在のところコテツフロアブルが原因と考えられるリサージェンスの報告はありませんし、県内他地域においてもスケジュール防除を行う中では問題ないようです。コテツフロアブルは茶以外の作物でも使用されていますので、今後、何か情報がありましたらお伝えいたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	